

# J R 東日本労働組合

# NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2022年 6月 6日 No. 442  
JR東日本労働組合  
長野地方本部  
発行者：臼井幸一  
編集：情宣部

## 2022夏季手当満額獲得のたたかいスタート！ 全組合員・全社員でたたかいをつくりだそう！④



2022 年度夏季手当の第2回交渉が6月3日に行われました。東日本ユニオンは交渉で大きく7つの主張を経営側にぶつけて 3.0 ヶ月の要求実現を強く迫ってきました！

- 東日本ユニオンの「2022 年度夏季手当交渉のスタンス」への共有を求める！  
3.0 ヶ月の必要性、社員・家族の生活実態、社員還元なくして、会社の持続的な発展はないなどと訴えました。
- 業績のV字回復を実現！賃金の回復を後回しにすることがあってはならない！  
「赤字」「黒字」だけで判断してはいけない、4,074 億円も利益を向上させてきた社員の努力や人件費の回復を後回しにすることがあってはならないことなどを訴えました。
- 設備投資と同様に社員にも 3.0 ヶ月の投資が必要だ！  
「2022 年度設備投資計画」では5,000億円の投資を計画している。設備投資と同様に現場第一線から創造している社員への投資が必要であることなどを訴えました。
- 会社施策を担い、社会的使命を全うしている社員に 3.0 ヶ月を出す必要がある！  
「変革 2027」の実現のため様々な会社施策を担い、生産性を向上させてきた一方で、担務変更や単身赴任を余儀なくされる等、苦勞して会社施策を現場で担っている社員がいること、「コロナ禍」「福島県沖地震」においてもエッセンシャルワーカーとして努力してきたことなどを訴えました。
- 3.0 ヶ月がなければ社員は生活できない！  
物価上昇、値上げで社員は明るい生活が描けないでいる。この2年間の期末手当の生活水準と昇給係数2の中で生計費が足りない。生きていく土台は賃金・手当であることを訴えました。
- 「成績率(増額)」の運用条件は 3.0 ヶ月の満額回答だ！  
全社員一丸となって黒字化に向けて奮闘してきた。3.0 ヶ月満額支給でなければ「成績率」運用は行うべきではない事、成績率の運用は社員の納得感・腹落ちが必要と訴えました。
- 全社員一律による月数回答とすること！6月30日までに支払うこと！→会社と認識一致  
社員は「職制」「等級」によって賃金に差がつけられている。「月数+〇万円」とした回答はさらに格差を広げる。月数回答として職制や等級、年齢などに関係なく全社員一律による月数回答などを訴えました。  
↳会社は月数回答が基本的な考えであると述べました。会社と認識一致が図れました。

## 労働組合で賃金獲得のたたかいを一緒に作りだしませんか？